

令和4年度 岡山市子ども・子育て会議 第1回就学前教育・保育部会（議事録／要約）

日時：令和5年1月27日（金）午後3時25分～午後4時1分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階 体育集会室

【開会】

○部会長挨拶

○成立確認・・・委員13人中10名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

【議事】

議事進行は部会長

(1) 岡山市公共施設等総合管理計画個別施設計画（幼稚園、保育所、認定こども園）の変更について

〔事務局から資料に沿って説明〕

部会長 具体的に園の名前や何年度ということも書いてあり、より具体的で分かるような資料となっている。

全体的、またこども園への移行ということ等も含めて意見等ないか。

委員 同一中学校区内にある幼稚園、保育所の施設数が極端に少ない場合は、複数の中学校区を1つの単位にして一体的に進めるということだが、現在の計画案は中学校区に1つずつの公立認定こども園を設置し、あとは民間の活力を生かしていくことだと思うが、この資料ではどのような意味なのか、また具体的にはどういった地域を想定しているのか。

事務局 中学校区に1つ公立認定こども園を設置することについて変更はない。ただ、公立認定こども園を設置する場合、岡山市全体で床面積を減少することで有利な起債を活用し、公立こども園の施策を進める必要がある。

例えば、中学校区に1つしか公立園がないところは、統合する施設がないため、現在の条件では有利な起債の活用ができない。そのため、これまでの条件を緩和する表現に修正した。

委員 富山中学校区も対象ということか。

事務局 そのとおり。こども園の整備を進める際には、財政的な負担も考えながら進めなければならないため、この度の修正は、有利な起債の活用しながら整備する手法について記載している。

委員 整備時の要件で、隣接だけでなく、広範囲を適用するということなのか。

事務局 そのとおり。床面積を減らしていき、トータルコストを削減するし、後に負担をかけない整備をすることとしている。

委員 中学校区に1つずつの公立認定こども園という原則が崩れるということか。

事務局 公立認定こども園は中学校区に1園整備する原則は堅持する。

委員 行政にとって、中学校区は分かりやすい単位かもしれないが、生活している者にとっては、生活圏という意味で中学校区が必ずしも分かりやすくもなければ、合理的でもない場合がある。中学校区に1つずつ整備するという原則が不合理であると思っており、その不合理的を解消するため、複数の中学校区で1つの公立認定こども園が整備されることもあれば、必要であれば、中学校区に2つの公立認定こども園整備されることもあるといった柔軟な見直しをしてほしい。

事務局 中学校区に1つの公立のこども園を整備するとともに、他の園については民間移管の話を進めている。また、子どもが少なくなっている園については、統廃合の話も進めており、これからの在り方については、将来にわたって安定的に就学前教育・保育を提供し続けるための施策であり、堅持したいと考えており、ご理解をいただきたい。

委員 候補園一覧の中で石井中学校区の候補園が巖井保育園になっているが、道路の拡張工事等があり、保育園が縮小されると聞いたが、石井中学校区の候補園が変更になるということなのか。

事務局 道の拡幅計画はあるが、進捗が遅れている。道路が巖井保育園の敷地にかかる計画ということも聞いており、地域の方々との話の中で進めていくが、現在の候補園は巖井保育園と考えている。

(2) 保育の利用定員について

〔事務局から資料に沿って説明〕

委員 多くは定員が減っているが、中央3のエリアは1号の需要が多かったのか。

事務局 法人からは、1号の需要があるということで定員増の申請があり、受理している。

委員 1号が3人でも問題ないのか。

事務局 3人に法的な問題はない。

委員 子どもの人数が減っており、それに併せて確保数も考慮しながら検討をし、変更することだったが、適切な施設数を確保してほしいが、保育士等の人数によって、預かれないという状況はどうなっているのか。保育士が足りないと聞くが。

事務局 以前のように保育士がものすごく足りない状況ではないが、まだ保育士の採用が困難な状況ではある。園によっては、保育士が確保できず、定員を下げざるを得ない状況にあり、保育士が充足されている状況ではないと認識している。

現状としては、岡山市がこれまで実施してきた保育士確保策や国の処遇改善等できることをやっていく。

(3)その他

部会長 その他の項で何かあるか。

委員 不適切な保育というタイトルで報道が目につくようになってきている。こういった報道がされると、学生たちは不安になるので、岡山市では、明るいニュースを流していただきたい。

事務局 ささまざまな研修をしながら、そういったことがないように保育園及び幼稚園の園長会とも力を合わせてやっている。

部会長 現場の先生たちは、本当に頑張っているので、良い面も伝えていただけたらと思う。

閉会